

Edu-Diver[※] 構想

GIGAスクールを実現！

ICTを活用した長岡独自の教育体制

一人ひとりの子どもに最適な学びを保障

※Edu-Diver：教育（Education）と多様性（Diversity）を組み合わせた名称

◎長岡市独自の学習コンテンツの提供

- 歴史的資料や支所地域等の特性を生かした学習コンテンツの作成・提供



◎企業等による特別授業

- ものづくり企業・産業界と連携した遠隔による校外学習や職場見学等



◎4大学1高专等による発展的な学び

- 高等教育機関の研究成果等の提供
- 高等学校との連携



◎CBTシステムの活用

- 地元教育系IT企業と連携し、コンピュータ上で解答するテストを実施



◎子ども・青少年相談センター・スクールカウンセラー等との連携

- オンラインによる児童生徒、保護者との相談業務
- オンラインで学校と支援会議の実施



◎不登校児童・生徒

- 授業や行事等の映像配信
- デジタルドリルでの個別学習
- 現況に合わせた相談支援



長岡市「ほっとルーム」
「フレンドリールーム」



◎校内適応指導教室等の児童・生徒

- 授業や行事等の映像配信
- デジタルドリルでの個別学習



授業イノベーション

「人生や社会に生きる確かな学びに向かう子ども」の育成に向けて

「自分」に合った学び 多様な関わりを生かす学び
実体験を伴う活動的な学び

◆授業イノベーションにおけるICTの活用

- 追究場面における情報検索・収集
- カメラ機能を生かした情報の共有及び課題の設定
- 教室内の考えを瞬時に共有
- 考えの交流を円滑にするアプリの活用
- 学習データを生かした課題の設定・把握
- Web会議システムを利用した多様な関わりへの創出
- デジタルドリルを用いた個に応じた学習課題の設定



◎通級指導教室在籍児童・生徒

- 音声文字変換等の状況に応じたアプリ提供



◎放課後ディサービス等利用児童・生徒

- 個に応じた支援
- デジタルドリルでの個別学習



◎入院等の児童・生徒 ※基幹3病院と連携

- 授業や行事等の映像配信
- デジタルドリルでの個別学習



◎日本語指導が必要な児童・生徒

- 翻訳アプリ等の提供
- 日本語指導担当教諭との連携
- 翻訳機能による家庭内での活用
- オンライン上での日本語指導・支援



※ タブレット端末の活用にあたっては、児童 生徒の情報リテラシーや健康面への影響等にも十分配慮しながら進めていきます。

令和6年3月